

2020/10/9-2

(うと Q 世話し 閻魔様の御 (おん) 前で)

ネパール語と日本語と英語の対訳 (単語と極短文のみ) のお知らせ用店外黒板板書を始めて今日で凡そ 2 週間。

結構皆さんご覧になっていかれるようで。

一方自分にも新しい発見が。

何とネパール語と日本語は語並びがほぼ一緒なのです。

例えば「私は、カレーを、食べ、たい」が日本語の語順だとすると、ネパール語も

「モ、 カリー 、カナ、チャーハンチュ」でぴったり。

因みに「モは私」「カリーはカレー」「カナが食べる」「チャーハンチュがしたい」

むしろ英語の

「I want to eat curry」の方が

「私は、したい、食べる、カレーを」

で、我がネパールコックさん達には「変な言葉」らしいのです。

しかも、ネパール語とヒンディ (インド語) とウルドゥー (パキスタン語) は文章構造が近いらしい (というのは結構不自由なく話しているからですが)

だとすれば「何故そんな事に今迄気づかなかったの？」と言われて当然。

で、何故かと言えば近所の本屋さんに当該文法書がなかったから。

ならば何故ネットで探さなかったのか？と更に言われそうですが、自分では此処に書き乍も、ここ 2、3 年、ネットを閲覧するのにいい加減嫌気がさしていたからです。

というのも、見れども、見れども出くわすのは「ヨイショ」に「コキオロシ」に「…」ばかりでもう「うんざり」

特に二番目の「誹謗中傷」は、自分自身経験した事もあるので、その恐ろしさを身に染みて知っているからです。

その後、再びネットに投稿するようになる迄、相当量の時間を要しました。

中には、それに耐えきれず、有名無名を問わず、命を落とされた方も可成いらっしゃる様で。

ところが、そこまで追い込んだご当人様方は、自分がどんな事をしているかの意識を余りお持ちになっていらっしゃらないようで。

例えば、その方々が鬼籍に入られた後に、閻魔様の前に進んだ折、その閻魔様から

「お前は、生前に 10 名の人間を自殺に追いやった極悪非道の輩。依って地獄行きじゃ」

との閻魔帳を見ながらの宣告を受けて

「えっ、何、なに？そんなこと知りませんよ。自分は税金も納めていたし、詐欺や泥棒もした事なんて一度もないですから、何かの間違いじゃないですか？」

という具合に「思いもよらぬ」裁定に驚愕される方が結構いらっしゃる様な。

しかし、その時は「時、既に遅し」

もし、そんな目に遭いたくないのであれば、今からでもお止めになられては如何かと思いま

すよ。

老婆心ながら。